

キャンパスに向う  
全体像が見えない  
終わりのない描写  
それは人生そのもの  
果てしなく時を忘れて  
空白がなくなると  
すべて塗りつぶす  
何のために  
目標なんてない  
ただ惰性に流され  
描き続ける  
苦しみから解放されるとき  
喜びがあるだろうと  
それははかない夢  
再び新しいキャンパスに向かう  
苦しみからの解放を求めて  
そこに奇跡が起こらない限り  
繰り返される